

(第7期) 第2回さいたま市公民館運営審議会 議事録

1 開催日時

平成26年1月28日(火) 午後1時30分から午後3時30分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 7階講座室1・2

3 出席者名

〈委員：12名〉

- ① 安藤 聡彦 委員長
- ② 生越 康治 副委員長
- ③ 有賀 覚 委員
- ④ 五十嵐 健一 委員
- ⑤ 柿塚 一二三 委員
- ⑥ 黒岩 清 委員
- ⑦ 高後 仁 委員
- ⑧ 清水 千代 委員
- ⑨ 鈴木 京子 委員
- ⑩ 谷崎 美智子 委員
- ⑪ 長岡 綾子 委員
- ⑫ 西村 貴之 委員

〈拠点公民館職員：7名〉

- | | |
|----------------|--------|
| ① 大宮区 桜木公民館 | 斎藤 隆 |
| ② 見沼区 大砂土東公民館 | 鶴見 道子 |
| ③ 中央区 鈴谷公民館 | 足利 英之 |
| ④ 桜区 田島公民館長 | 戸張 豊一 |
| ⑤ 南区 文蔵公民館 | 鈴木 弘 |
| ⑥ 緑区 大古里公民館 | 三上 富士夫 |
| ⑦ 岩槻区 岩槻本丸公民館長 | 斉藤 典男 |

〈事務局：5名〉

生涯学習総合センター

- ① 館長 石塚 晃
- ② 副館長 細見 俊孝
- ③ 主幹兼事業企画係長 森田 隆之
- ④ 事業企画係主査 斉藤 明彦

⑤ 社会教育指導員 橋本 佐度子

4 議 題

- (1) 第6期さいたま市公民館運営審議会答申「社会変化に対処する公民館のあり方について」の報告
- (2) 今後のスケジュールについて

6 配布資料

- (1) 第7期第1回さいたま市公民館運営審議会議事録
- (2) さいたま市公民館運営審議会第6期答申「社会変化に対処する公民館のあり方について」(資料1)
- (3) 第7期さいたま市公民館運営審議会スケジュール(案)(資料2)
- (4) 第7期さいたま市公民館運営審議会内容(案)(資料3)
- (5) さいたま市公民館運営審議会から他の会議等への推薦委員(案)(資料4)

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

1名

9 会議

- ・会議は委員の半数以上が出席しているので、成立。

10 審議内容

前回(第7期第1回さいたま市公民館運営審議会)議事録の承認を経て議事に入った。

- (1) 議題1 第6期さいたま市公民館運営審議会答申「社会変化に対処する公民館のあり方について」の概要について、事務局より、資料1に基づき報告。その後、委員長より内容について説明した。

安藤委員長	以上駆け足で説明させていただきましたが、皆さんには、時間のある時に再度お読みいただき、今後の参考としていただければと思います。何か質問等ございますでしょうか。
委員	なし。
安藤委員長	ここで、委員の皆さんに事務局から、答申と提言のどこが違うのかということの説明していただきたいと思います。
細見副館長	はい、まず答申について説明いたします。社会教育法の中で、公民館運営審議会の役割が定められています。公民館長は、「〇〇ということについて協議いただきたい」という形で審議会に対して諮問する

	<p>ことができます。さいたま市の場合は、生涯学習総合センター館長が、皆様に諮問させていただきます。そのテーマに基づいて皆様に協議いただき、その結果出されるものが答申です。</p> <p>一方、提言ですが、皆様の気づいた点、皆様の方から出されたテーマについて協議いただきながら審議会を進めていこうというものです。第7期については、諮問という形はとらず、提言という形になりますので説明させていただきました。</p>
安藤委員長	<p>ありがとうございました。答申は総論的とも言えます。提言は、ある意味、委員の皆さんの主体性、存在価値がより反映されます。調整可能な提言という形で成果として2年後に向けてまとめていくというこの流れでいかがでしょうか。ご質問等ありますでしょうか。</p>
五十嵐委員	<p>今のようにリードしてください。よろしくお願いします。</p>
安藤委員長	<p>大きくは、資料3にありますような形で進めていきたいと考えています。</p>

- (2) 議題2 今後のスケジュールについて、事務局より、資料2・3に基づき説明。
3月の審議会の日程について協議し、3月26日(水)午前の開催を決定した。
その後、グループでの話し合いを行った。

安藤委員長	<p>さて、先ほど事務局より今後のスケジュールにつきまして説明がありました。今後の審議するテーマを考える上で、委員の皆さんから、公民館についての課題や疑問点について伺いたしたいと思います。</p> <p>つきましては、グループディスカッションの形式で行い、ざっくりばらんな意見を出していただきたいと思います。最後に各グループの代表の方に、出た意見について報告いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>また、拠点公民館長さんにもグループに加わっていただきたいと思います。なお、グループ分けにつきましては、事務局より案内させていただきます。</p>
-------	--

各グループ意見交換 (A、B、Cの3つのグループに分かれて意見交換)

安藤委員長	<p>それでは、そろそろ時間となりますので、この段階で、各グループごとに話し合われたことを紹介、報告いただきたいと思います。よろしいでしょうか。それでは、まずAグループからお願いいたします。</p>
五十嵐委員	<p>公民館の利用は頻繁にしているのですが、予約を取るのに苦労しています。一つの団体が名前を変えて、2か所、3か所と予約を取り、ほかの団体が入り込めないという現状に困っています。</p> <p>それから、公共性のある団体、例えば、自治会連合会総会や、ふれあい会食、子育てサロンなどには、予約に便宜というか、優遇措置があることが分かりました。</p> <p>次に公民館の環境についてです。私も大戸公民館のふれあい会食に</p>

	<p>参加したことがあります。古い公民館でエレベーターがなく、高齢者にはきついものがあります。トイレも使いづらく、何とかならないかと思えます。部屋には、火災予防法などから人数制限というものがあるのでしょうか。</p>
安藤委員長	<p>ありがとうございました。次にBグループお願いします。</p>
西村委員	<p>公民館はどういう人たちが利用しているのかという確認から議論を始めました。比較的平日を含め生活の中で自由に時間を調整できる60歳以上のリタイアされた高齢者と主婦の利用割合が高く、全体的に女性の利用者が多い傾向にあります。その一方で働いている世代、10代から20代の青少年層、特に男性の利用割合が圧倒的に低く、土曜、日曜の企画もあるものの、なかなか休日に公民館に足を運んでもらえていない現状を確認しました。</p> <p>次に施設について、老朽化した公民館と新しい公民館とがあり、利用に差がでてきている状況にあります。そうした差も含め公民館運営に関する予算について知りたいところです。利用者も公民館の設備を利用するにあたって利用料を払って、公民館の設備を維持改善していく費用負担を少なからず追うことも大事ではないかという意見が出ました。しかし、受益者負担を推し進めていくと、現在でも利用者は文化的経済的に恵まれた層に偏る傾向がある中で、利用したくても利用できない層が多く生まれてしまう点に考慮しないとならないという意見も出ました。地域の拠点である公民館という位置づけを考えた時には、地元住民が分け隔てなく集い、利用できる施設として、予算も含め公民館運営が充実しているのかどうかをチェックする課題があるように思います。</p> <p>最後に、公民館の企画に関する話題が出ました。職員には、人員体制も厳しく、運営の難しさはありますが、さいたま市に住んでいる多様な世代の課題にアンテナを張って、その情報をもとに企画を立てていくという企画力が今後問われていくだろうという意見が出ました。</p>
安藤委員長	<p>明快にまとめていただきました。企画力というキーワードが出てきました。</p> <p>次にCグループお願いします。</p>
有賀委員	<p>公民館の事業のあり方から始め、設備の問題も出てきました。まずは公民館側で、幼児から高齢者までの幅広い地域住民を集められる事業を行ってほしいということをお話しました。予約の面ですが、一番問題なのは、団体の二重登録で、非常に困っています。中央区の公民館ですが、地元優先のコミュニティルームがあります。地域の協力者が集まって地域のために使えるのはとても良いことだと思います。</p> <p>次に設備の問題がありまして、築30年以上の古い公民館がとて多く、衛生的にも問題のあるところがあります。修繕の予算は一体ど</p>

	<p>うなっているのかという疑問が出てきました。</p> <p>もう一つ根本的な問題です。公民館の予約は朝から晩まで埋まっていますが、果たして地域住民が平等に使えているかという疑問があります。実際にどれだけの人が公民館がどこにあり、どういうことをしているのかを知っているのでしょうか。知らない人も多いのではないかと思います。もう少し、地元住民を取り込む仕組みがないだろうかと思えます。</p>
安藤委員長	<p>ご意見ありがとうございます。今回の皆さんのお話の中に第7期の公民館運営審議会の提言を出すときの種がすでに潜んでいると思います。今後とも引き続き検討いただきたいと思います。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>

(3) その他

- ・公民館運営審議会から、さいたま市明るい選挙推進協議会への委員の推薦について説明し、生越副委員長を推薦することで承認を得た。
- ・次回は、3月26日（水）10時00分から生涯学習総合センター9階会議室において開催することを確認した。

11 閉会